

ふうせんバレー体験会に参加して

◎日時：令和3年6月21日（月）

◎場所：あおば幼稚園

香川県障害者スポーツ協会補助事業である「ふうせんバレー体験会」に6月21日ボランティアで参加しました。あおば幼稚園の元気な48名の年長組さんが迎えてくれました。密を避けるため2回に分けて行いました。

年長組さんは去年体験しているので今回は、お尻をつけての移動も最初はぎこちなかったけれど、続けてするとうまくできるようになりました。ふうせんを使っての円陣パスの練習と、ネットを挟んでのパスの練習をしました。特にネットを挟んでのパスがすごく気に入ったようでした。皆、ふうせんを触りたいので、ふうせんに向いて一生懸命でした。

とても元気な年長組さんとの楽しい時間も瞬く間に過ぎ次は、ゲームができたらいいなあと思いながら、幼稚園をあとにしました。

森澤 千代子



コロナ禍の中で…

コロナ禍の中で、私が勤めている作業所では日中3回の手洗い、マスク着用、送迎車に乗る前の検温、食事は無言で、食事前に職員がテーブルをアルコール消毒しています。テーブル中央にシートを、天井からつるしているので、エアコンの風が全体に行き渡らず、扇風機も使用しています。職場の全員がコロナの終わりを、心から願っています。只々ワクチンを、待っています。私個人としては、70年近く生きてきて、初めての経験をしています。

比較的穏やかな時代だけを生きるのは、無理でした。残念！

これから様々な所で、生活様式が変わっていくのでしょうか！周りが清潔になるのはいい事だけど、人と人との関わりは、希薄になってほしくない気がします。

2021年 7月 半田 重子



コロナ禍の中で…

世界中の人々が、コロナウイルスに翻弄され始めてから約18ヵ月。人類がこのウイルスに打ち勝ち、マスクをせずして「空気が美味しいね」って言える日が来るまでには、まだまだ時間がかかりそうですね。我が息子は、昨年もコロナ患者が増え始めた頃の4ヵ月間、通所施設を休み居宅支援を行いました。そして、今年も5月の連休明けから再度居宅支援を行っています。親子で居宅支援に取り組む中で「見える化」する事の大事さ・寄り添う事の大事さも実感しています。

最近、色々な所で、インパクトのある絵や文字を目にする様になりました。この見える化もコロナウイルスでの翻弄もグローバル化のひとつなんでしょうか。軽重の自粛生活をしながらも人と人との誠実な触れ合いの大切さをも実感しています。人と人が気軽に寄り添えることは、とても大切な事。クラブの皆様と声を掛け合い・笑い合える日を心待ちにしている昨今です。

高岡 憲美

ちょっと一息お茶をどうぞ

— 福ちゃんと僕 —

我が家には、幸(女の子)と福(男の子)という名前の犬がいます。幸は「ワン」と吠えますが、福は縫いぐるみなので吠える事はできません。10年ほど前、福と僕は、香川県立保健医療大学の学園祭で出会いました。福ちゃんには、弟(福2号)がいます。似てはいないけど双子です。福ちゃん達は僕の大切なマスコットです。幸ちゃんみたいにブルブルと震えはしないけど福ちゃん達は僕も雷を怖がります。そんな時は何時も握りしめて守ってやります。時には、キリンやふくろう達と一緒に“ブレーメンの音楽隊”遊びをして楽しませます。一番下は、丸くて大きいふくろうです。2番目は細いキリンです。福2号は福ちゃんより力持ちなので3番目です。福ちゃんは身体が小さいので何時も見張り役です。僕は、寝る時も福ちゃん達を握り締めて守っています。福ちゃん達は「ありがとう」と言ってくれます。あれから学園祭に行っていないので、コロナが収束したら学園祭に連れて行ってやりたいと思っています。保健医療大学は、さらスポーツクラブの人たちにとっても大変ありがたい存在です。母さんがそのように話してくれています。だから、大学のそばの交差点を左へ曲がり、もえぎの里“あい”の喫茶店へ行く時も大学を見ながら、僕は、福ちゃん達の様に「ありがとう」って言います。

代筆 祥司の母

編集後記

TOKYO2020オリンピック・パラリンピックもいよいよ始まりました。コロナウイルス感染拡大の影響で一年開催が延期され、今年、無観客開催ということになりました。これまでとは全く違ったオリンピックで若干、寂しさを感じますが、テレビの前で応援しています。コロナ禍の中で「新しい生活様式」がいつまで続くか分かりませんが、1日も早い終息を、またマスクのいらぬ日常に戻る事を願っています。

中田 賢二

さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想： ☎087-813-5016 E-mail sara.takamatu@nifty.com

発行責任者：高岡憲美・光吉直哉・中田賢二

